

令和7年度 各務原市の決算状況 (わかりやすい決算書)



はじめに

(注1) 本冊子では、総務省が定めた全国一律のルールにより算出した、普通会計決算に基づいた決算額を記載しています。

(注2) 本冊子中の説明文は、分かりやすさを重視する観点から表現しています。

(1) わかりやすい決算書とは

- ✓多くの皆さんに市の決算状況を分かりやすく知っていただきたいという思いから、本冊子を作成しました。
- ✓市の事業は、子どもたちの教育や道路の整備、ごみの収集処理など、皆さんの生活に密着しています。
- ✓この冊子を通して、市民の皆さんに、市の事業や財政状況に対するご理解を深めていただきたいと思います。

(2) 決算と予算の関係

- ✓あらかじめ、どんなお金が入り、どんなことにいくら使うかという計画を立てたものを「**予算**」といいます。
- ✓計画に対し、実際どれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金を使ったかをまとめたものを「**決算**」といいます。
- ✓自然災害の発生や経済情勢の変化といった不測の事態が生じた場合などは、途中で計画を変更することがあります。この変更を「**補正予算**」といい、通常は6月・9月・12月・3月の年4回の市議会定例会のタイミングで行います。

(3) 予算から決算までの流れ

前年度の3月ごろまで

予算編成

1年間にどれくらいのお金が入ってくるかを予測して、お金の使い道の計画(予算)を立て、議会が議決します。

4月～3月

予算執行

計画(予算)に沿って市民サービスを提供していきます。
※次年度の5月までに全ての支払いを完了します。

次年度の6月～9月

決算

使ったお金をまとめ、行った市民サービスの結果と合わせて公表し、議会が認定します。



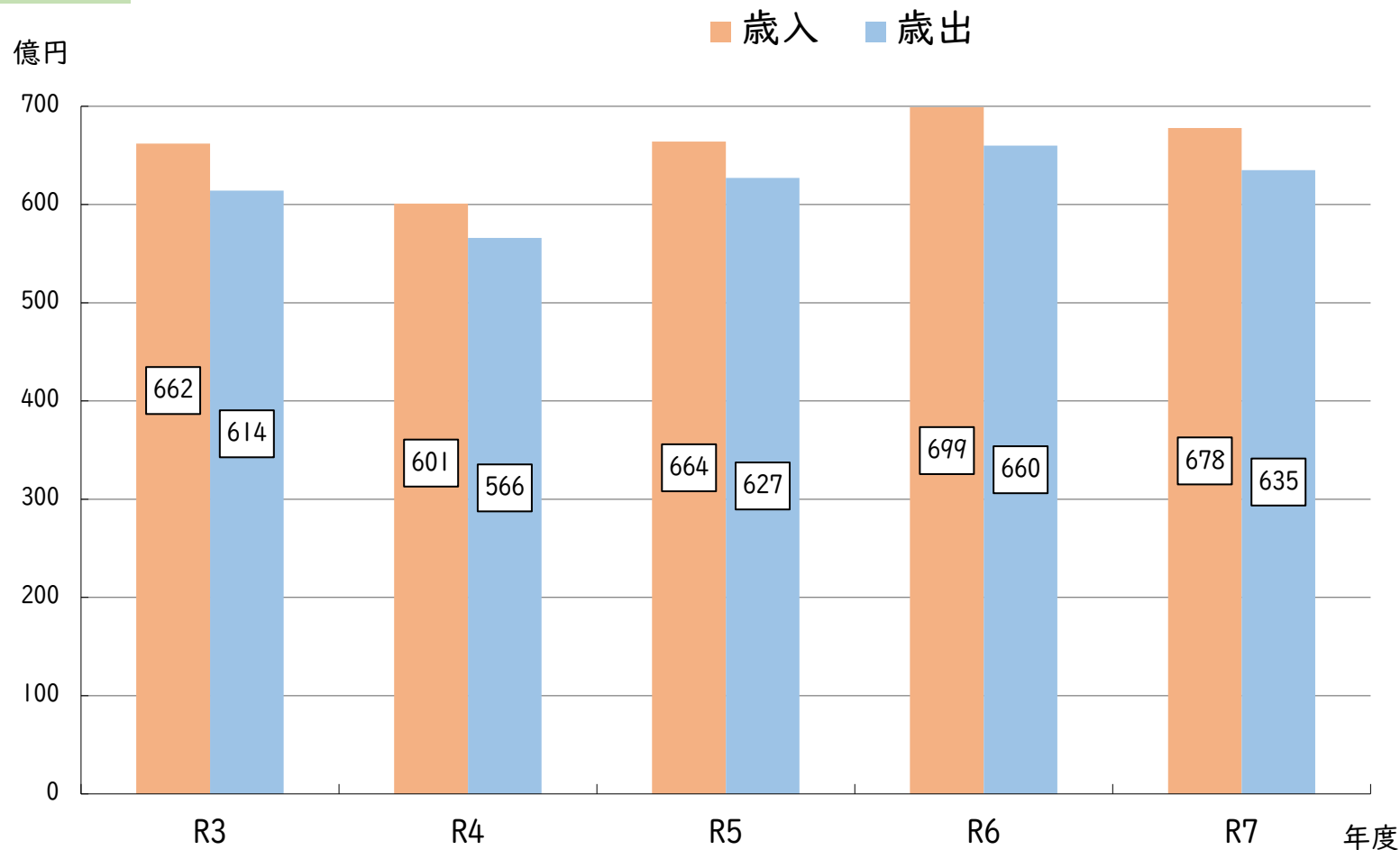
どれくらいのお金を扱っているの？【決算規模】

令和7年度の決算では、

入ったお金（歳入）は、678億円、使ったお金（歳出）は、635億円です。

余ったお金の43億円は、次の年度に使います（「繰越金」といいます）。

決算規模の推移

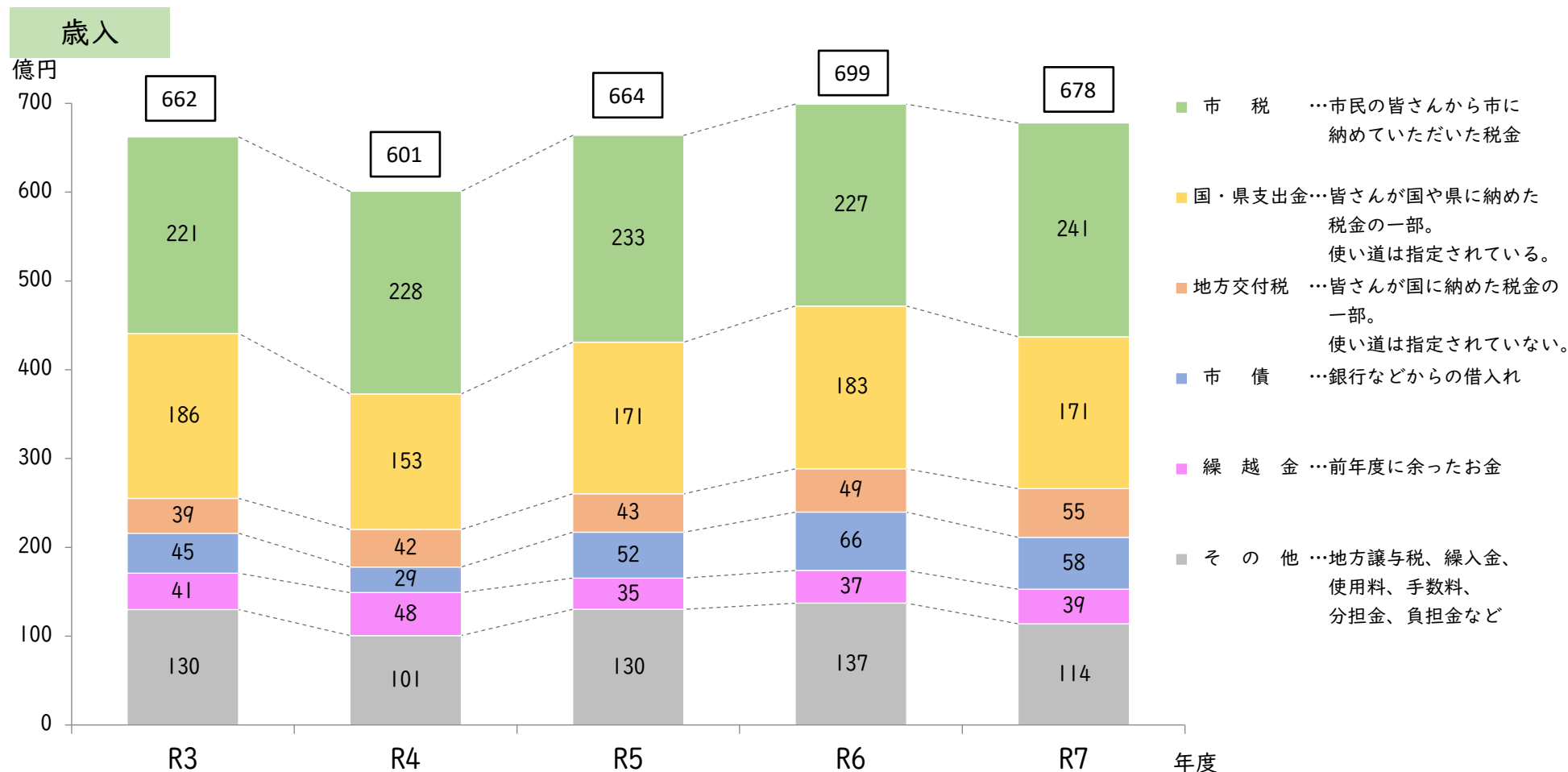


どんなお金が入ってきたの？【歳入内訳】

市に入ってきたお金（歳入）を見てみましょう。

市民や市内に事務所などがある法人などが納める**市税**のほか、**国や県から入ってくるお金**、**施設の利用料**、**銀行などからの借金**、**貯金を取り崩したお金**などがあります。

令和7年度は、新特別支援学校整備事業が完了したことなどにより、国・県支出金が12億円減少しています。



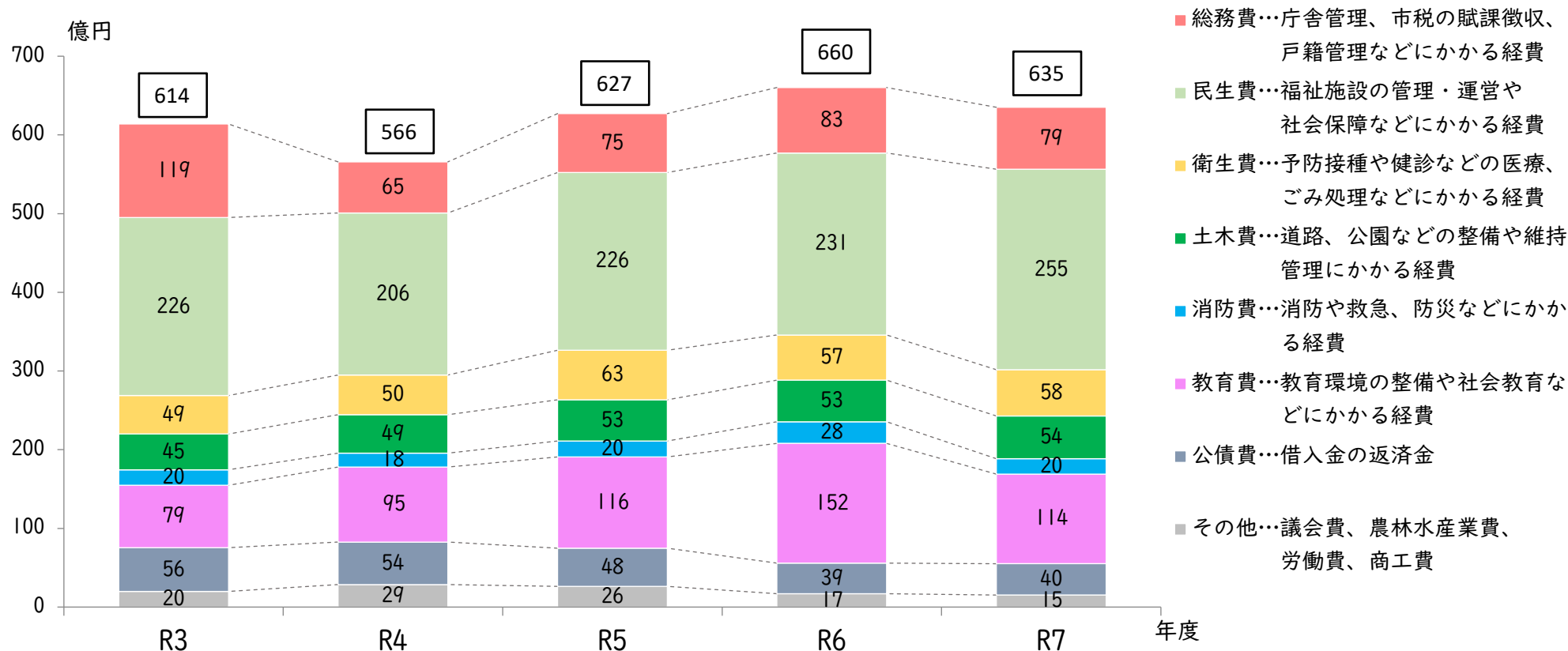
何のためにお金を使ったの？【目的別歳出】

市が使ったお金（歳出）を見てみましょう。

行政目的の視点から「何のために使ったのか」という観点で分類したものが「目的別」という分け方です。

令和7年度は、新特別支援学校整備事業が完了したことなどにより、教育費が38億円減少しています。

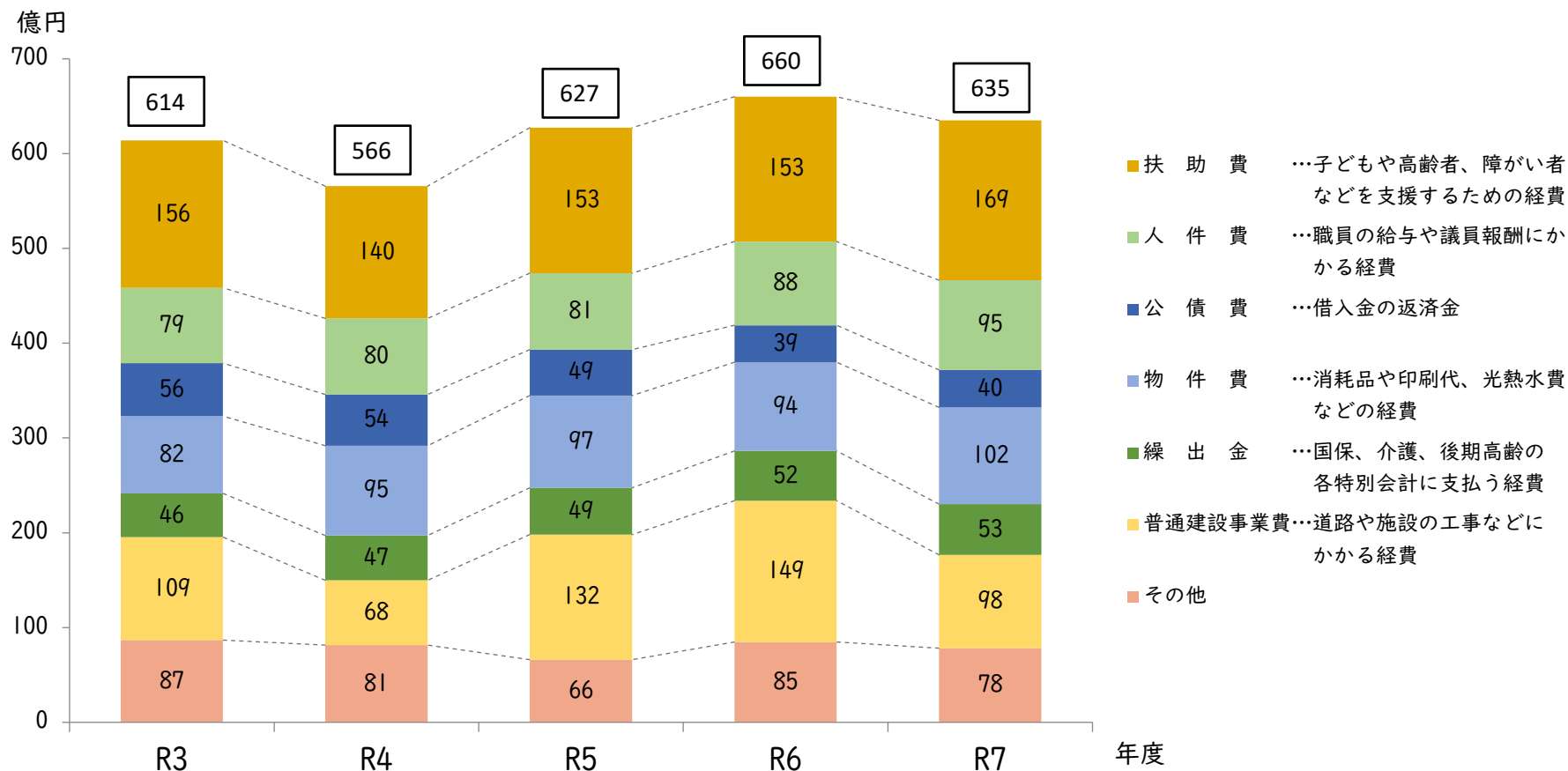
歳出（目的別）



どんなことにお金を使ったの？【性質別歳出】

経済的性質の視点から「どんなことに使ったのか」という観点で分類したものが「**性質別**」という分け方です。令和7年度は、物価高対応子育て応援手当支給事業の実施などにより、扶助費が16億円増加している一方、新特別支援学校整備事業が完了したことなどにより、普通建設事業費が51億円減少しています。

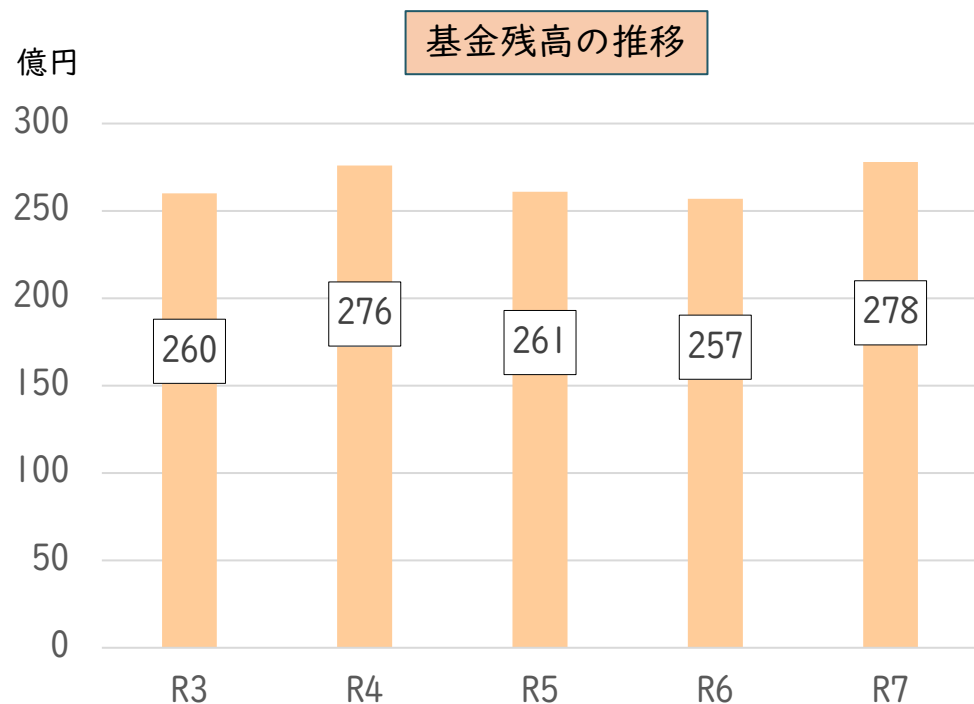
歳出（性質別）



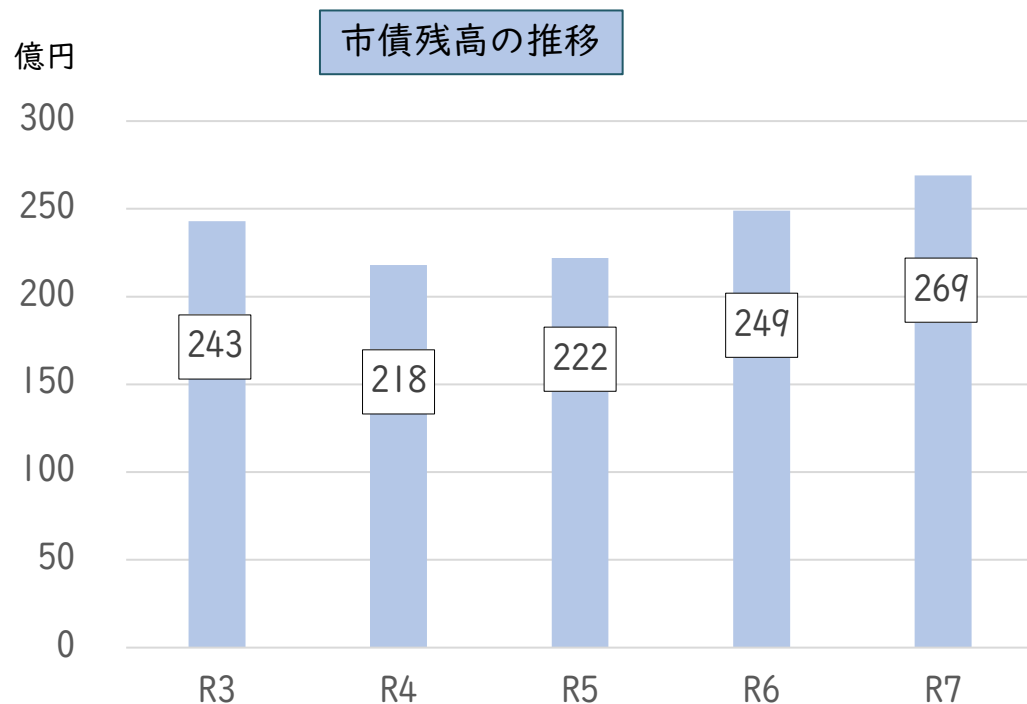
貯金や借金はどれくらいあるの？

【基金・市債残高】

市では、貯金のことを「**基金**」、借金のことを「**市債**」と呼んで管理しています。
令和7年度末において、**基金残高は、278億円**で、令和6年度末と比べ21億円増加しました。
また、**市債残高は、269億円**で、令和6年度末と比べ20億円増加しました。



基金は、年度間のお金の過不足を調整するもの、借入金の返済に使うもの、学校施設の整備に使うものなど、それぞれの目的ごとに分類し、管理しています。



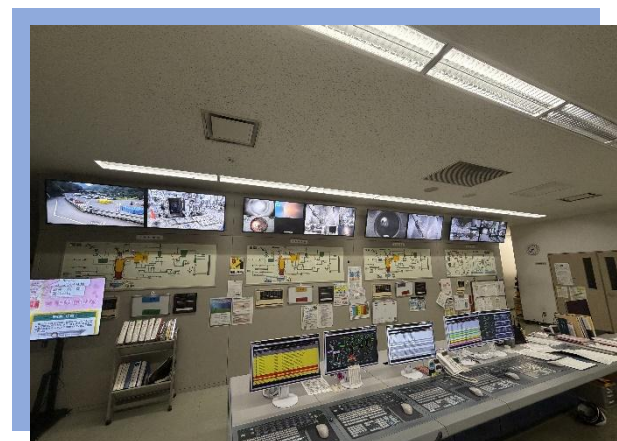
市債にも種類がありますが、市では将来の実質的な財政負担を軽くするため、国の支援がある有利なものを活用しています。将来にわたって使用できる公共施設の整備は、世代間の公平性の観点からも市債を活用しています。

どんなことにお金を使ったの？もっと詳しく

令和7年度に実施した主な事業について、目的別に紹介します。



結婚相談所リニューアル・婚活支援事業



北清掃センター基幹的設備改良事業

総務費 まちづくり推進課

結婚相談所リニューアル・婚活支援事業 3,630千円

開所時間の拡大、予約及び登録申請のオンライン化、民間専門相談員による個別相談の実施等、結婚相談所の機能を強化するとともに、市内の魅力を活かした3か所で婚活イベントを実施し、結婚を希望する方の婚活を支援しました。

総務費 まちづくり推進課

防犯機能付電話機等購入補助事業 1,558千円

特殊詐欺の被害件数・被害額が増加する中、ひとり暮らし等の高齢者世帯に対し、防犯機能付電話機等の購入費用を補助しました。

民生費 生活支援課

ひきこもり支援事業 17,093千円

ひきこもり状態にある方やその家族を支援するため、ひきこもりに関する相談支援や自宅等へ訪問するアウトリーチ支援、気軽に参加できる居場所づくりを展開しました。

民生費 福祉政策課・教育総務課

特別支援学校跡地改修事業 286,551千円

各務原特別支援学校の跡地を整備し、複数の教育・福祉機関が入る「那加教育福祉複合センター（愛称：さくらスクエア）」を令和8年4月に開設しました。

衛生費 北清掃センター

1,704,538千円

北清掃センター基幹的設備改良事業

北清掃センターの長寿命化及び二酸化炭素排出量削減を図るため、基幹的設備の改良工事を令和4～7年度にかけて実施しました。

衛生費 こども家庭センター

母子保健DX化推進事業 622千円

予防接種の管理や相談等がオンラインでできるよう母子手帳アプリを導入し、保護者の利便性向上や相談しやすい体制の構築を図りました。



中小企業新ビジネス展開支援事業



空の日イベント事業

労働費 商工振興課

若者人材確保のためのWeb対策支援事業 4,385千円

若者の雇用確保に課題を抱える企業に対し、Webや動画を活用するためのセミナーを開催するとともに、Webを活用した採用活動ツールを作成する費用を助成しました。

農林水産業費 農政課

御膳粳を活用した給食支援事業 2,053千円

家計の負担軽減及び郷土愛や誇りの醸成を目的として、幼稚園や保育所等での給食に各務原市産のお米（御膳粳）を使用しました。

商工費 商工振興課

中小企業新ビジネス展開支援事業 1,545千円

人材確保や企業PR等に課題を抱える中小企業を対象に、セミナーやワークショップを開催したほか、ものづくりの魅力発信などを目的としたオープンファクトリーやミニ四駆事業を開催しました。

商工費 観光交流課

空の日イベント事業 813千円

9月の「空の日」にあわせ、市内外の航空関連企業によるマルシェの開催や航空整備士による教室を実施する等、空宙博を核とした賑わい創出を図りました。

土木費 都市活力創造課

まちなかウォークアブル推進事業 59,606千円

那加地区の魅力を発信するための情報板（那加ビジョンボード）の設置、レンタサイクル等を活用した社会実験の実施、公園や道路の改修等、市民公園・学びの森の賑わいを那加商店街まで波及させることを目的とした事業を展開しました。

土木費 河川公園課

朝日地区公園再編事業 118,691千円

狭小公園が点在している朝日地区内の公園の集約化など、その再編を行うためのリニューアル整備工事を実施しました。



消防費 消防総務課

消防団救急資機材配備事業

1,133 千円

災害発生時におけるけが人の手当や救護などの円滑化のために、消防団に担架、災害多人数用救急箱を配備しました。

消防費 防災対策課

防災ハンドブック更新事業

4,147 千円

大雨による浸水の範囲や深さ、避難所の位置などを地図上に示した内水ハザードマップ等を新たに追加した防災ハンドブックを作成し、市民へ全戸配布しました。

教育費 教育施設整備推進課

新総合体育館総合運動防災公園整備運営事業

442,391 千円

現在の総合体育館が抱える課題を解決し、スポーツだけでなくにぎわいや防災の拠点となる新たな総合体育館と総合防災公園の整備を進めています。令和7年度は造成工事を実施するとともに、PFI事業者選定委員会を開催し、事業者を決定しました。事業者決定後、事業契約を締結し、基本設計を完了しました。

教育費 教育施設管理課

体育館空調設備整備事業（学校）

534,823 千円

児童生徒の教育活動や災害時の避難所の熱中症対策として、令和6～8年度にかけて小中学校体育館に新たな空調設備を整備します。令和7年度は小学校5校、中学校3校の工事を行い、全中学校において整備が完了しました。

教育費 文化財課

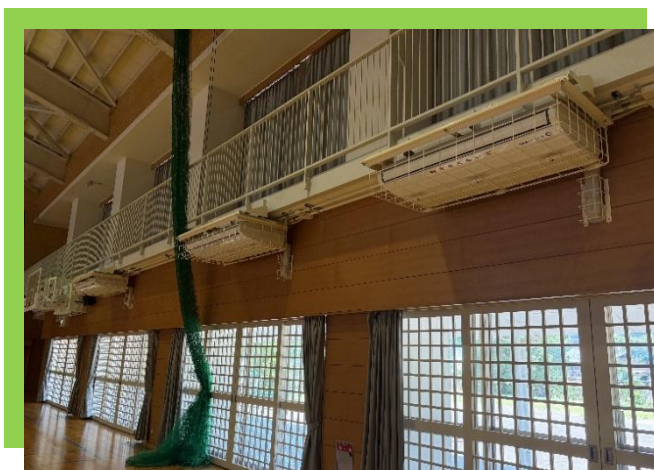
戦後80年企画展事業

3,376 千円

戦後80年を機に、各務原市と太平洋戦争の歴史を振り返り、戦争の記憶を後世へ伝える企画展を開催しました。



防災ハンドブック更新事業



体育館空調設備整備事業（学校）



「ふるさと納税」 の使い道は？

応援メニュー	寄付金額 (千円)
① 教育・文化・スポーツに関すること	70,262
② 環境に関すること	28,005
③ 保健・医療に関すること	15,763
④ 高齢者福祉に関すること	11,463
⑤ 障がい児者福祉に関すること	12,324
⑥ 子ども福祉に関すること	73,908
⑦ 防災・防犯に関すること	10,003
⑧ 基盤整備に関すること	6,137
⑨ 産業振興に関すること	16,434
⑩ 各務原市まると応援	188,333
⑪ クラウドファンディング型	80
合計	432,712



令和7年度中にいただいた「ふるさと納税」432,712千円を活用した主な事業を紹介します。

①

かかみがはら支援学校運営事業

197,946千円

誰もが住み慣れた地域で安心して学べるよう、知的障がい、肢体不自由、病弱のある児童生徒が小中高一貫で学ぶことのできる総合型の特別支援学校「かかみがはら支援学校」を開校し、安定的な運営、管理を行いました。

⑥

こども医療費助成事業

561,842千円

子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、0歳から15歳までに加えて、令和7年度から新たに18歳までの子どもが通院や入院にかかる保険内診療分の自己負担額を助成しました。

⑦

消防車両更新事業

18,982千円

災害対応力の強化を図るため、消防本部の指揮車1台を更新しました。

⑪

減塩各務原キムチの素新商品開発事業

198千円

健康的な食生活の実現を図るため、クラウドファンディングにより減塩版「各務原キムチの素」の開発に取り組みました。



かかみがはら支援学校運営事業



減塩各務原キムチの素新商品開発事業

各務原市役所

〒504-8555

岐阜県各務原市那加桜町 1-69

TEL 058-383-1111(代表)

HP www.city.kakamigahara.lg.jp

